

「斐川地域で生活バスの試験運行を開始しました」



11月24日から、斐川地域で生活バスの試験運行を開始しました。

斐川地域では、自家用車を持たない高齢者や学生の公共交通手段の確保が課題であることから、住民が主体となって

斐川地域交通運行協議会が組織され、平成25年2月から約2年間、新たなバス交通の検討を重ねられました。市では、この検討の中で考案された4つの新規バス路線のうち、住民アンケートで最も利用希望が多く、駅や病院を経由する公共性の高い路線である斐川中央南北線において、約1年間、生活バスの試験運行を行うことになりました。

この斐川中央南北線は、斐川支所(斐川文化会館玄関前)を起点・終点とし、JR直江駅、総合医療センター、雲州平田駅、JR莊原駅を経由する循環

環路線です。運行日は、平日のみとし、左右方向へ1日各5便(周)運行します。運賃は、大人200円、小学生以下100円です。(運賃の徴収事務は(一財)出雲市都市公社が行います。)

今後、利用実績等の検証を行い、本格運行の実施について検討していきます。



おたずね
交通政策課

☎216819

『新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」』の進捗状況をお知らせします

市では平成24年度に、平成33年度を最終年度とする出雲市総合振興計画『新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」』を策定し、その計画期間を前期・後期に分けて、まちづくりに取り組んでいます。

この出雲未来図では4つの戦略プロジェクトを掲げており、その進捗状況をお知らせします。

プロジェクト名	H23年度末実績値	H24年度末実績値	H25年度末実績値	H26年度末実績値	H28年度末目標値	H33年度末目標値
雇用創出2,000人	—	351人	704人	996人	700人	2,000人
定住人口キープ17万人	174,960人	174,702人	174,505人	174,538人	17万人台	17万人台
交流人口1,000万人	869万人	997万人	1,576万人	1,310万人	1,000万人	1,000万人
住みやすさNo.1						
住みやすいと感じる人の割合	83.4%	平成28年度実施予定の市民満足度調査にて進捗状況を確認します			87%	90%
住み続けたいと思う人の割合	82.6%				86%	90%

※雇用創出数は、正規・自営の新規就業者数の累計です。

※定住人口は、住民基本台帳人口です。

このほか、各分野の具体的な施策の実施状況をわかりやすくお伝えするため、身近な数値を用いた指標で数値目標を設定しています。前期基本計画の平成26年度の進捗状況は、市のホームページに掲載しています。また、政策企画課および各支所(地域振興課・市民サービス課)でも閲覧できます。

おたずね 政策企画課 ☎21-6612